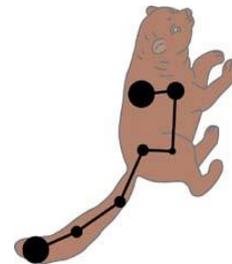


ポラリス通信



第51号 令和6年6月13日

萱田南小学校 5年生 家庭科(ソーイング)を終えて

6月13日(木)萱田南小学校では、去年に引き続き萱田ポラリスの方々にご協力いただき、5年生の家庭科学習を行いました。ポラリスの皆様が子どもたちに対し、少人数での支援をしてください、玉止め・玉結びの技能を高め、充実した時間を過ごすことができました。



【生徒・子どもたちのおもな感想】

- 玉結びや玉止めの指の使い方が難しかったけど、ポラリスの先生が丁寧に教えてくれたので、すぐにできるようになりました。
- 玉結びが難しくてなかなかできなかったけど、何度も丁寧に教えてくださったのでできるようになりました。とてもうれしかったです。
- ポラリスの先生と一緒に玉止めををやらしてもらえたからできるようになりました。これから、一人できるようになるため、もっと練習を頑張りたいです。



【ボランティアのみなさんの感想】

- 担当するお子さんが、3~4人だったのでとてもやりやすかった。
- 素直なお子さんが多く、男女問わず、真剣に授業を受ける態度に感心した。
- 「家庭科の授業は楽しかったです。」と言われ、嬉しかった。玉止めはみんなよくできていたように思う。
- 子どもたちは、私語なく、集中して針と糸に奮闘していた。
- 針山の置き場所を決めたり、机の上には必要なものだけ置いたりするなど、作業しやすい場を説明できるとよかった。

【最後に、学年の先生方からのコメントなど】

- 今までの経験では2・3時間かかって玉結びと玉止めを教えていましたが、それでもなかなかできない子が多くいた実情でした。今回3人に1人の先生が付いてくださったおかげでほぼ全員ができるようになり、とてもありがたく感じています。ありがとうございました。
- 初めての裁縫に不安を感じていた児童も多く、玉止め・玉結びに苦戦している様子もありましたが、一人ひとりに丁寧に教えてくださり、安心して学習できたようでした。ありがとうございました。